

ICT機器等を活用して環境を整えることで、活動への意欲や学習の深まりにつなげていくことができます。



<肢体不自由教育部門小学部>
朝の会では、タブレット端末・スイッチを活用することで、進行役の児童や、聞く（見る）側の児童の意欲が高まるよう工夫しています。また大型スクリーンによる視覚支援、音声出力による聴覚支援は、児童にとって活動の“わかりやすさ”や主体性につながります。

スイッチをおして、朝の会をすすめるぞー★

文化祭の表現会や模擬店でも、ICT機器が積極的に活用されています。



プロジェクターの使用により、場面ごとに円滑に背景演出を行うことができます。視聴者側にとって場面の切り替わりがわかりやすくなるだけでなく、児童生徒自身が演技のイメージがしやすくなるメリットがあります。

模擬店では、タブレット端末と大型モニターを無線でつなぐことで、タイマー係や説明係などの役割を主体的に果たすことができます。

